

**PAT-NO:** JP359227534A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 59227534 A  
**TITLE:** TERMINAL STRUCTURE OF SIDE MOL DING  
FOR AUTOMOBILE

**PUBN-DATE:** December 20, 1984

**INVENTOR-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
------	---------

INAMI, SUMIO	
--------------	--

MAEDA, AKIRA	
--------------	--

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
------	---------

NISSAN MOTOR CO LTD N/A	
-------------------------	--

**APPL-NO:** JP58101783

**APPL-DATE:** June 9, 1983

**INT-CL (IPC):** B60R013/04

**US-CL-CURRENT:** 293/128 , 296/209

**ABSTRACT:**

PURPOSE: To prevent a door lower molding terminal from floating up with a simple means but with

certainty, by forming a door lower terminal molding and a sill molding terminal together as one body.

CONSTITUTION: A terminal molding 28 is solidly formed by means of one sheet panel being formed with a door lower terminal molding piece 29 and a sill terminal molding piece 30 bent in the specified form, and each of molding pieces 29 and 30 is connected with each other via an intermediate groove part 31. In addition, at the rear end of the door lower terminal molding piece 29 and the sill terminal molding piece 30, a lockup piece 32 in accord with the sectional form of both pieces is welded, and each of engaging holes 33 and 34 is installed in both top and bottom terminals of this lockup piece 32. Since the door lower terminal molding piece 29 is formed solidly together with the sill terminal molding piece 30, it is firmly secured to a car body with only the clamp of a screw 37 of the rear end lockup piece 32 so that there is no case coming off the setting surface or floating up in its tip end.

COPYRIGHT: (C)1984,JPO&Japio

## ⑫ 公開特許公報 (A)

昭59-227534

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 60 R 13/04

識別記号

庁内整理番号  
7453-3D

⑬ 公開 昭和59年(1984)12月20日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 4 頁)

## ⑭ 自動車用サイドモールの端部構造

① 特 願 昭58-101783

② 出 願 昭58(1983)6月9日

⑦ 発 明 者 井波澄男

厚木市岡津古久560-2 日産自動車株式会社テクニカルセンター内

⑧ 発 明 者 前田晃

厚木市岡津古久560-2 日産自動車株式会社テクニカルセンター内

⑨ 出 願 人 日産自動車株式会社

横浜市神奈川区宝町2番地

⑩ 代 理 人 弁理士 土橋皓

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

自動車用サイドモールの端部構造

## 2. 特許請求の範囲

サイドドアのアウトパネル下縁およびその延長線上の車体パネルにドアロアモールドを装着すると共に、サイドドアの下部に位置するサイドシルのアウトパネルに上記ドアロアモールドと略平行にシルモールドを装着してなる車体側部のサイドモール構造において、上記車体パネルに装着されるドアロア端部モールドとシルモールドの端部とを一体的に形成したことを特徴とする自動車用サイドモールの端部構造。

## 3. 発明の詳細な説明

本発明は自動車用サイドモールの端部構造に関する。

一般に自動車の側部には、第1図に示すようにサイドドア1, 2の下縁およびフエンダパネル3, 4の前記下縁の延長線上にドアロアモールド5が装着されると共に、サイドドア1, 2の

下部に位置するサイドシル6の外表面にも上記ドアロアモールド5と略平行にシルモールド7が装着されている。これらのサイドモールドは装飾用として、また走行時に路面上の小石がサイドドア1, 2の下部やサイドシル6に飛散して衝突し、サイドドア1, 2やサイドシル6が損傷したり、塗装が剝離してしまうのを防止する車体保護用として用いられている。そしてこれらのサイドモールドは、第2図に示すように中間部と端部とが夫々別体で構成された断面略C字状の金属製部材で形成され、中間部としてのドアロアモールド本体8およびシルモールド本体9は、第3図に示すように、ドアアウトパネル10の下端部およびシルアウトパネル11の上端部に夫々クリップ12, 13止め手段により装着される。

また上記サイドモールの端部を、第2図に示すようにサイドモールの後側端部で説明すれば、ドアロアモールド5の一部となるドアロア端部モールド14は、ドアモールド本体8と略同一断面形状に形成され、その後端部に平板状の固定片15を

有している。一方、シルモール7の一部となるシル端部モール16は、上記シルモール本体9より若干断面形状が大きく形成され、その後端部に平板状の固定片17を有している。そして、これらドアロア端部モール14およびシル端部モール16を車体側に取付ける場合には、第2図に示すようにリヤフエンダパネル4のホイール側端部に各モール14,16を夫々配置し、リヤホイールオープニングに沿って立設したフランジ18に各モール14,16の固定片15,17をビス19,20止め固定すると共に、シル端部モール16は、更にシルモール本体9の末端に嵌め込み固定することによりシル端部モール16の浮き上がりを防止していた。尚、第3図中符号21a, 21b, 21c, 21dは夫々緩衝部材としてのエンドカバー、22はドメインパネル、23はシルインナパネルである。

しかしながら、このような従来のサイドモールの端部構造にあつては、ドアロア端部モール14およびシル端部モール16が夫々別部材で構成されていたために、車体には各モール14,16を

(3)

作業のため、作業しづらいといった問題があつた他、ボルト挿通孔26からリヤフエンダパネル4とホイールハウスパネル25との間に漏水する虞れがあり、発錆の原因となる等の問題があつた。

本発明は上記従来の問題点に着目してなされたものであつて、その目的とするところはドアロアモール端部の浮き上がりを、簡易な手段で、かつ確実に防止できるようにしたサイドモールの端部構造にある。そして本発明の要旨とするところは、サイドドアのアウトパネル下縁およびその延長線上の車体パネルにドアロアモールの装着すると共に、サイドドアの下部に位置するサイドシルのアウトパネルに上記ドアロアモールと略平行にシルモールの装着してなる車体側部のサイドモール構造において、上記車体パネルに装着されるドアロア端部モールとシルモールの端部とを一体的に形成したことにある。

以下添付図面に示す実施例に基づいて本発明を詳細に説明する。

第5図および第6図に示す本発明の一実施例

(5)

別々に取付けなければならない。その結果、特にドアロア端部モール5側では、リヤサイドドア2側のドアロアモール本体8とドアロア端部モール14とが離れた状態で取付けられているために、上記固定片15のビス19止め手段だけでは、ドアロア端部モール14の先端部がリヤフエンダパネル4から浮き上がり易くそれに引つ掛けるなどして危険であつた。また、この問題を解決する手段として、例えば第4図に示すように両面接着テープ24を介して固定したり、又はリヤフエンダパネル4およびホイールハウスアウトパネル25の当接部にボルト挿通孔26を開設し、ホイールハウスアウトパネル25の裏面側でナット27締めすることにより固定したものがある。しかし、上記接着手段による場合、モールの接着面積が小さいため接着効果が必ずしも充分とはいえず、浮き上がり現象を確実に防止することができなかつた。また後者のようにナット27締めする場合には、浮き上がりを防止することができるもののホイールハウス内からのナット27締め

(4)

において、サイドドア1, 2の下端およびサイドシル6の夫々に装着されるドアロアモール5およびシルモール7は、従来と同様中間部と端部とが夫々別体で構成された断面略C字状の金属製部材であつて、中間部としてのドアロアモール本体8およびシルモール本体9は、第3図に示したのと同様のクリップ12,13止め手段により装着される。

一方、サイドモールの端部としてのドアロア端部モールおよびシル端部モールは、従来とは異なり両者が一体的に結合された端部モール28として形成されている。即ち、この端部モール28は、第5図および第6図に示すように、ドアロア端部モール片29とシル端部モール片30とが所定形状に折曲形成した一枚パネルによつて一体的に形成されており、各モール片29,30はその中間の溝部31を介して接続されている。またドアロア端部モール片29およびシル端部モール片30の後端には両者の断面形状に合わせた固定片32が溶接されており、この固定片32の上下端

(6)

部には止着孔 33,34 が設けられている。尚、シル端部モール片 30 の上下端部には、従来と同様、シルモール本体 9 の後端外表面に嵌め込み固定される係合片 35,36 が折曲形成されている。

従つて、このような構成からなる端部モール 28 を車体に取り付ける場合には、リヤフェンダパネル 4 のホイール側端部に上記端部モール 28 を配置し、リヤホイールオープニングに沿つて立設したフランジ 18 に端部モール 28 の固定片 32 をビス 37,38 止め固定すると共に、シルモール本体 9 の後端外表面にシル端部モール片 30 の先端部を嵌め込み、係合片 35,36 によつて両者を固定する。

その結果、シル端部モール片 30 は前後端部が固定されることとなり、従来と同様、車体にしっかりと固定されると共に、ドアロア端部モール片 29 は前記シル端部モール片 30 と一体的に形成されているので、後端固定片 32 のビス 37 止めだけでも車体にしっかりと固定され、取付面から外れたり、又は先端が浮き上がるといったこ

とはない。また両者は折曲断面を有する溝部 31 を介してその上下端縁が接続されているので、端部モール 28 自体の剛性を上げることができる。

尚、上記実施例ではサイドモールの後側端部の構造について説明したが、フロントサイドドア 1 とフロントフェンダ 3 との間におけるサイドモールの前側端部についても適用できることは勿論である。

以上説明したように本発明に係る自動車用サイドモールの端部構造によれば、ドアロアモールの端部の浮き上がりや離脱を簡易な手段でありながら確実に防止することができるといった効果がある。そして、従来のように車体パネルにはモール取付用の孔が設けられていないので、水密性および防錆性を向上させることができる他、ドアロアモールの端部とシルモールの端部とを一工程で車体に取り付けることができるので、互いに曲がつた状態で取付けられるといったことがなく、取付精度が向上する他、取付作業性も良くなる。

(7)

(8)

#### 4. 図面の簡単な説明.

第 1 図はサイドモールを装備した車両の側面図、第 2 図はサイドモール後端部の従来の構造を示す斜視図、第 3 図は第 2 図中Ⅱ-Ⅱ線断面図、第 4 図は第 2 図中Ⅳ-Ⅳ線断面図、第 5 図は本発明に係るサイドモールの端部構造を示す斜視図、第 6 図は端部モールの車体に取り付けた状態における第 5 図中Ⅵ-Ⅵ線断面図である。

1,2…サイドドア

3,4…フェンダパネル(車体パネル)

5…ドアロアモール 6…サイドシル

7…シルモール 10…ドアアウトパネル

11…シルアウトパネル

14…ドアロア端部モール

16…シル端部モール 28…端部モール

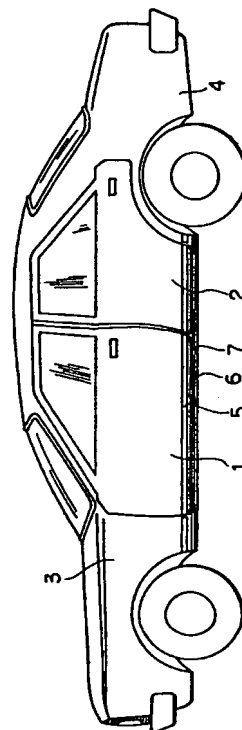
29…ドアロア端部モール片

30…シル端部モール片

特許出願人 日産自動車株式会社

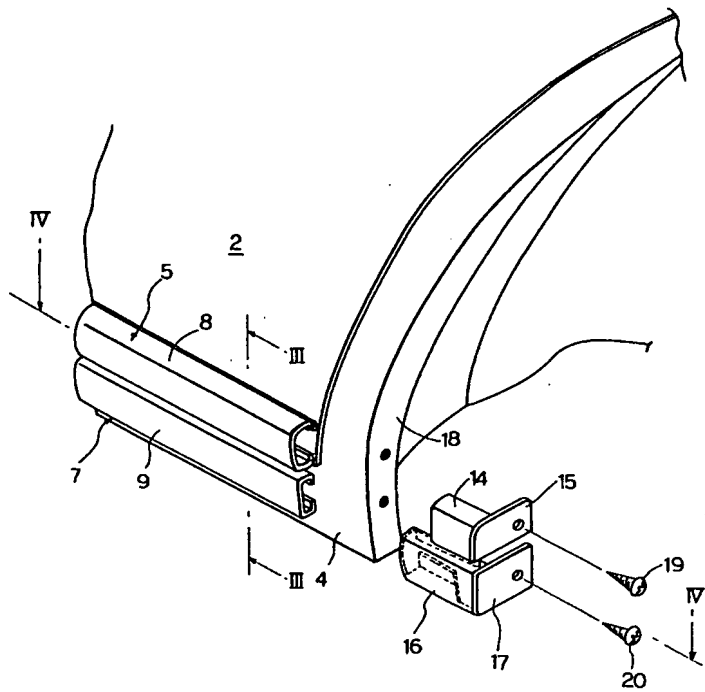
代理人 弁理士 土橋 皓

図  
1  
模

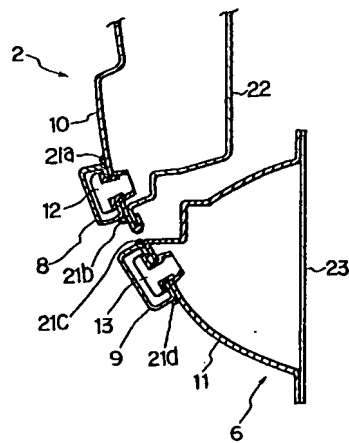


(9)

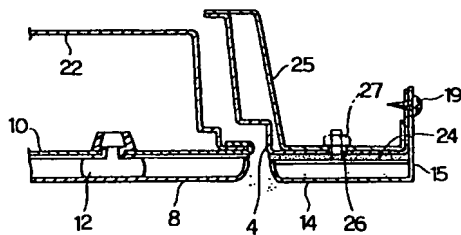
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

第 6 図

